

被献日特祷

永遠にいます全能の神よ、この日、独りのみ子は、律法に従い神殿において献げられ、主の民の栄光、諸国民の光として迎えられました。どうかわたしたちも主にあってみ前に献げられ、この世において主の栄光を現すことができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。 **アーメン**

旧約聖書 マラキ書 3章1－4節

3:1 私は使者を遣わす。彼は私の前に道を整える。あなたがたが求めている主は、突然、その神殿に来られる。あなたがたが喜びとしている契約の使者が、まさに来ようとしている——万軍の主は言われる。2 だが、彼が来る日に誰が耐えられようか。彼の現れるとき、誰が立っていられようか。彼は精錬する者の火、洗い落とす者の灰汁のようだ。3 銀を精錬し、清める者として座り、レビの子らを清め、彼らを金や銀のように純化する。こうして彼らは、主に供え物を正しく献げる者となる。4 ユダとエルサレムの供え物は、昔の日に、過ぎ去った年月にそうであったように、主に喜ばれるであろう。

詩 編

第51編15－19節

- 15 わが主よ、私の唇を開いてください || この口はあなたの誉れを告げ知らせます
- 16 あなたはいけにえを好まれません || 焼き尽くすいけにえを献げても、あなたは喜ばれません
- 17 神の求めるいけにえは砕かれた霊 || 神よ、砕かれ悔いる心をあなたは侮りません
- 18 御旨によってシオンを恵み || エルサレムの城壁を築いてください
- 19 その時あなたは義のいけにえを、完全に焼き尽くすいけにえを喜ばれます || その時には、あなたの祭壇に雄牛が献げられるでしょう

第84篇 または 第84篇1－7節

- 1 万軍の主よ || あなたの住まいはなんと慕わしいことでしょう
- 2 私の魂は主の庭に思い焦がれ、絶え入りそうです || 生ける神に向かって、身も心も喜び歌います
- 3 あなたの祭壇の傍らに小鳥さえも住みかを見つけ、つばめも巣をかけて、雛を育てています || 万軍の主、わが王、わが神よ
- 4 幸いな者、あなたの家に住む人は || 彼らは絶えずあなたを賛美します
- 5 幸いな者、あなたを力とし || 心の中に大路を敷く人は

- 6 嘆きの谷を通る者たちはそこを泉に変えます || 秋の雨がそこをまた祝福で覆います
7 彼らは力から力へと進み || シオンで神にまみえるのです
8 万軍の神、主よ、私の祈りを聞いてください || ヤコブの神よ、耳を傾けてください
9 神よ、私たちの盾を見てください || あなたの油注がれた者の顔に目を向けてください
10 あなたの庭で過ごす一日は、私の選んだ千日にもまさる || 神の家の戸口に立つことは、悪の天幕に住まうにもまさる
11 神である主は太陽、盾。主は恵みと栄光を与え || 全き道を歩む者に、良いものを惜しむことはありません
12 万軍の主よ || 幸いな者、あなたに信頼する人は

使徒書 ヘブライ人への手紙 2章14－18節

2:14 そこで、子たちは皆血と肉とを持っているので、イエスもまた同じように、これらのものをお持ちになりました。それは、ご自分の死によって、死の力を持つ者、つまり悪魔を無力にし、15 死の恐怖のために一生涯、奴隷となっていた人々を解放されるためでした。16 確かに、イエスは天使たちを助けるのではなく、アブラハムの子孫を助けられるのです。17 それで、イエスは、神の前で憐れみ深い、忠実な大祭司となって、民の罪を宥めるために、あらゆる点できょうだいたちと同じようにならなければなりません。18 事実、ご自身、試練を受けて苦しまれたからこそ、試練を受けている人々を助けることができになるのです。

福音書 ルカによる福音書 2章22－40節

2:22 さて、モーセの律法に定められた清めの期間が満ちると、両親はその子を主に献げるため、エルサレムへ連れて行った。23 それは主の律法に、「母の胎を開く初子の男子は皆、主のために聖別される」と書いてあるからである。24 また、主の律法に言われているとおりに、山鳩一つがいか若い家鳩二羽を、いけにえとして献げるためであった。25 その時、エルサレムにシメオンと言う人がいた。この人は正しい人で信仰があつく、イスラエルの慰められるのを待ち望み、聖霊が彼にとどまっていた。26 また、主が遣わすメシアを見るまでは死ぬことはない、とのお告げを聖霊から受けていた。27 この人が霊に導かれて神殿の境内に入った。そして、両親が幼子イエスを連れて来て、その子のために律法の定めに従っていけにえを献げようとしたとき、28 シメオンは幼子を腕に抱き、神をほめたたえて言った。

29 「主よ、今こそあなたはお言葉どおり、この僕を安らかに去らせてくださいます。30 私はこの目であなたの救いを見たからです。31 これは万民の前に備えられた救いで、32 異邦人を照らす啓示の光、あなたの民イスラエルの栄光です。」

33 父と母は、幼子についてこのように言われたことに驚いた。34 シメオンは彼らを祝福し、母マリアに言った。「御覧なさい。この子は、イスラエルの多くの人を倒した

り立ち上がらせたりするためにと定められ、また、反対を受けるしるしとして定められています。35 剣があなたの魂さえも刺し貫くでしょう。多くの人の心の思いが現れるためです。」36 また、アシェル族のファヌエルの娘で、アンナという女預言者がいた。非常に年を取っていて、おとめの時に嫁いでから七年間、夫と共に暮らしたが、37 その後やもめになり、八十四歳になっていた。そして神殿を離れず、夜も昼も断食と祈りをもって神に仕えていた。38 ちょうどその時、彼女も近づいて来て神に感謝を献げ、エルサレムの贖いを待ち望んでいる人々皆に幼子のことを語った。

39 親子は主の律法で定められたことをみな終えたので、自分たちの町であるガリラヤのナザレに帰った。40 幼子は成長し、強くなり、知恵に満ち、神の恵みがある上にあ